

第4回 ICT を活用した新道路交通調査体系検討会 議事概要

1. 日時

令和2年10月14日（水）10:00～12:00

2. 出席者

＜委員＞ 羽藤英二委員長、井料隆雅委員、大口敬委員、小嶋文委員、塩見康博委員、布施孝志委員、柳沼秀樹委員

3. 議題

- (1) 全国道路・街路交通情勢調査について
- (2) 新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて
- (3) 道路システムのDXについて（報告）

4. 議事概要

(1) 全国道路・街路交通情勢調査について

○事務局より令和2年度全国道路・街路交通情勢調査の延期、令和元年度プレOD調査結果、次回全国道路・街路交通情勢調査における旅行速度算定方法について説明後、委員より、今後は、車種別の速度などもあわせて整理すべき等のご意見をいただいた。

(2) 新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて

○事務局より CCTV カメラ画像の AI 解析による交通量観測の精度検証について説明後、委員より、精度向上に向けてオープンデータを教師データとして活用することや、教師データとベンチマークデータをセットでオープン化することを検討すべき等のご意見をいただいた。

○事務局より ETC2.0 プローブデータ等を活用した OD 表構築に向けた検討及び OD 交通量逆推定手法の検討について説明後、委員より、まずはルールベースを基本としてデータクレンジングを十分に実施する必要があることや、将来的には朝夕のラッシュ時などより細かい時間単位での逆

推定を目指していくべき等のご意見をいただいた。

○事務局より ETC2.0 プローブデータを活用したボトルネック把握手法について説明後、委員より、将来的には交通密度の概念での分析やパフォーマンス評価を目指すべき等のご意見をいただいた。

3) 道路システムのDXについて（報告）

○事務局より国土幹線道路部会中間とりまとめのポイント等について説明後、委員より、データプラットフォームの整備推進や警察など関係機関との連携強化を図るべき等のご意見をいただいた。